SONY®

4-170-839-**03**(1)

デジタルスチルカメラ
取扱説明書
DSC-TX5

LITHIUM ION N TYPE

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

Cyber-shot

⚠警告 安全のために

→ *70 ～ 73ページもあわせてお読みください。*

誤った使いかたをしたときに生じる**感電や傷害など人への危害**、また**火災などの財産への損害**を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。

「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、電源コードに傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラやACアダプター、バッテリーチャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐにソニーの相談窓口へご相談ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら煙が出たら →
❶ 電源を切る
❷ 電池をはずす
❸ ソニーの相談窓口に連絡する

裏表紙に**ソニーの相談窓口の連絡先**があります。

⚠危険 万一、電池の液漏れが起きたら

❶ すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂のおそれがあります。

❷ 液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。

❸ 液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。

❹ 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

警告表示の意味

この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

⚠危険

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

⚠警告

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

⚠注意

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く

指示

電池について

安全のためにの文中の「電池」とは、「バッテリーパック」も含みます。

お使いになる前に必ずお読みください

表示言語について

本機では、日本語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。

内蔵メモリーおよびメモリーカードのバックアップについて

アクセスランプ点灯中に電源を切ったり、バッテリーやメモリーカードを取り出したりすると、内蔵メモリーのデータやメモリーカードのデータが壊れることがあります。データ保護のため必ずバックアップをお取りください。

管理ファイル作成について

管理ファイルが作成されていないメモリーカードを本機に挿入し電源を入れると、メモリーカードの一部の容量を使って自動的に管理ファイルを作成します。次の操作まで時間がかかることがあります。

録画・再生に際してのご注意

- メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機ではじめてお使いになる場合には、まず、本機でフォーマットすることをおすすめします。
  フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。
- 必ず事前にためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。
- 日光および強い光に向けて本機を使用しないでください。故障の原因になります。
- 強力な電波を出すところや放射線のある場所で使わないでください。正しく撮影・再生ができないことがあります。
- 結露が起きたときは、結露を取り除いてからお使いください（67ページ）。
- 本機に振動や衝撃を与えないでください。誤作動したり、画像が記録できなくなるだけでなく、記録メディアが使えなくなったり、撮影済みの画像データが壊れることがあります。
- フラッシュの表面の汚れは取り除いてください。発光による熱でフラッシュ表面の汚れが変色したり、貼り付いたりすると、充分に発光できない場合があります。

液晶画面についてのご注意

- 液晶画面は有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。
- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。

ソニー製純正アクセサリーをお使いください

純正品以外のアクセサリーをお使いになると、故障の原因になることがあります。

- 純正品以外のマグネット付きケースは、電源誤作動を起こす場合があります。

本機の温度について

本機を連続して使用した場合、本体やバッテリーが温かくなることがありますが、故障ではありません。

温度保護機能について

本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために自動的に電源が切れたり、動画撮影ができなくなることがあります。電源が切れる場合は、切れる前に画面にメッセージが表示されます。撮影ができなくなった場合は、画面にメッセージが表示されます。

画像の互換性について

- 本機は、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格"Design rule for Camera File system"(DCF)に対応しています。
- 本機で撮影した画像の他機での再生、他機で撮影/修正した画像の本機での再生は保証いたしません。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

撮影内容の補償はできません

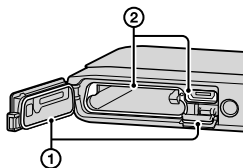
万一、カメラや記録メディアなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。

防水/防塵・耐衝撃性能について

本機は防水/防塵性能、耐衝撃性能を備えていますが、誤った使いかたによる故障は保証の対象外になります。

- JIS保護等級IP58相当の防水/防塵性能があります。水深3 m/60分までの撮影が可能です。
- 水道などからの勢いのある水を、直接あてないでください。
- 温泉で使用しないでください。
- 推奨動作温度－10℃から+40℃の水温でご使用ください。
- MIL-STD 810F Method 516.5-Shock に準拠した厚さ5 cmの合板上での1.5 mからの落下テストをクリアしています。*
  * すべての状態において、無破損・無故障・防水性能を保証するものではありません。
- 防塵・耐衝撃性能については、傷やへこみがつかないことを保証するものではありません。
- 落下などの強い衝撃を与えた場合は、防水性能を保証しません。修理相談窓口での点検をおすすめします(有料)。
- 付属品は防水/防塵・耐衝撃仕様ではありません。

水中・水辺で使用する前のご注意

- 砂、髪の毛、ほこりなどの異物を、バッテリー /メモリーカードカバー、端子カバーに挟み込まないようにしてください。わずかな異物でも浸水の原因となります。
- 防水パッキン、防水パッキンの当たる面に傷がついていないことを確認してください。わずかな傷でも浸水の原因になります。傷がついてしまった場合は、修理相談窓口にご相談いただき、防水パッキンを交換してください(有料)。

① 防水パッキン
② 防水パッキンの当たる面

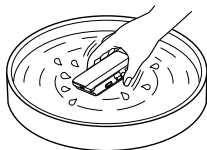
- 防水パッキン、防水パッキンの当たる面にゴミや砂がついているときは、繊維の残らない柔らかい布等で拭き取ってください。傷をつけないために先の尖ったものは使わないでください。
- 水辺での使用中や、手に水や砂がついているときは、絶対にバッテリー /メモリーカードカバー、端子カバーの開け閉めをしないでください。水や砂が本機の中に入って故障の原因となります。カバーを開ける前に必ず、「水中・水辺で使用した後のお手入れ」を行ってください。

- 完全に乾いた状態でカバーを開けてください。
- 必ずバッテリー /メモリーカードカバー、端子カバーが確実にロックされていることを確認してください。

水中・水辺で使用中のご注意

- 水中に飛び込むなど、カメラに衝撃を与えないでください。
- 水中・水辺で、バッテリー /メモリーカードカバー、端子カバーの開け閉めを行わないでください。
- 水深3 mを超えるときは、別売のハウジング(マリンパック)を使用してください。
- 本機は水中で沈みます。水没防止のためにリストストラップをご使用ください。
- 水中でのフラッシュ撮影時、浮遊物に反射してぼんやりとした白く丸い点が発生することがあります。故障ではありません。
- 水中での撮影時に画像の歪みが気になる場合は、シーンセレクションで(水中)モードに設定してください(36ページ)。
- レンズに水滴等がついていると、きれいに撮影できないことがあります。

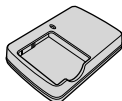
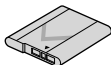
水中・水辺で使用した後のお手入れ

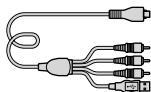
- 使用後は60分以内で、バッテリー /メモリーカードカバー、端子カバーを開ける前に必ず水洗いしてください。見えないところに水や砂が入り込んでいることがあり、塩、砂等を付着したままにしておくと防水性能が劣化します。
- 容器にためた真水に5分以上つけ置いてから、水の中で本体を揺すったり、各ボタンやズームレバー、レンズカバーを動かして、ボタンやレンズカバーのすきまに入った塩、砂等をしっかりと洗い流してください。

- 洗ったあと、柔らかい布で水滴を拭き取り、風通しの良い日陰で充分に乾かしてください。ドライヤーの熱風で乾燥させると、変形により、防水性能が劣化するおそれがあるため行わないでください。
- 本機は水抜き構造となっており、電源ボタンやズームレバーなどのすきまに入った水が外に出てきます。水につけたあとは、しばらく乾いた布の上に本機を立てて置き、水を抜いてください。
- 水につけた際には泡が出ることがありますが、故障ではありません。
- 日焼け止めやサンオイルが付着すると、カメラの表面が変色することがあります。付着させてしまった場合は速やかに拭き取ってください。
- 塩水に浸した状態や塩水が付着した状態で放置しないでください。腐食や変色、防水性能の劣化の原因になります。
- 防水性能を維持するために、1年に1回はお買い上げ時の販売店か修理相談窓口にご相談いただき、バッテリー /メモリーカードカバー、端子カバーの防水パッキンを交換することをおすすめします(有料)。

目次

付属品を確認する

万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

- バッテリーチャージャー BC-CSN/BC-CSNB（1）

- リチャージャブルバッテリーパックNP-BN1（1）

- ペイントペン（1）

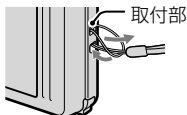
- マルチ端子専用USB・A/Vケーブル（1）

- リストストラップ（1）

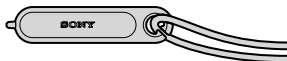
- CD-ROM（1）
  - サイバーショットアプリケーションソフトウェア
  - 「サイバーショットハンドブック」
- 取扱説明書（本書）（1）
- 防水に関するご注意（1）
- 保証書（1）

ご注意

- 付属品は防水/防塵・耐衝撃仕様ではありません。

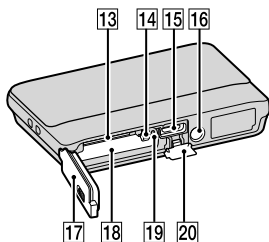
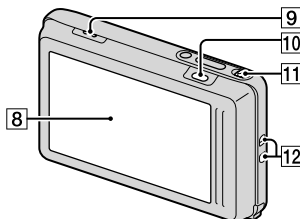
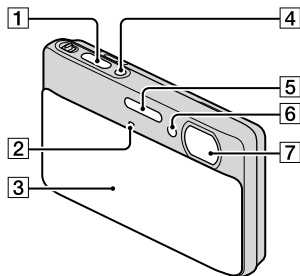
リストストラップを使う

本機にはあらかじめリストストラップが取り付けてあります。落下防止、水没防止のため、手をとおしてご使用ください。

ペイントペンを使う

タッチパネルを操作するときに使います。リストストラップに取り付けて使えます。

ご注意

- ペイントペンを持って、本機を持ち運ばないでください。本機が落下するおそれがあります。

準備する

各部の名前を確認する

1 シャッターボタン

2 マイク

3 レンズカバー

4 ON/OFF（電源）ボタン

5 フラッシュ

6 セルフタイマーランプ/スマイルシャッターランプ/AFイルミネーター

7 レンズ

8 液晶画面/タッチパネル

9 スピーカー

10 ▶（再生）ボタン

11 ズーム（W/T）レバー

12 リストストラップ取り付け部

13 メモリーカード挿入口

14 取りはずしつまみ

15 マルチ端子

16 三脚用ネジ穴
- ネジの長さが5.5 mm未満の三脚を使う。5.5 mm以上の三脚ではしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。

17 バッテリー /メモリーカードカバー

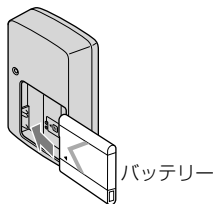
18 バッテリー挿入口

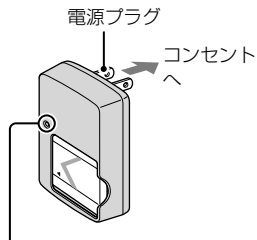
19 アクセスランプ

20 端子カバー

バッテリーを充電する

1 バッテリーをバッテリーチャージャーに取り付ける。

- 残量があるバッテリーも充電できる。

2 電源プラグを引き起こし、壁のコンセントに取り付ける。

CHARGEランプ消灯後、そのまま約1時間充電を続けると、若干長く使える（満充電）。

3 充電が終わったら、バッテリーとバッテリーチャージャーを取りはずす。

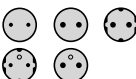
充電にかかる時間

満充電	実用充電
約245分	約185分

ご注意

- バッテリー（付属）を使い切ってから、温度25 ℃の環境下で充電したときの時間です。使用状況や環境によっては、長くかかります。
- バッテリーチャージャーを取り付けるときは、お手近なコンセントをお使いください。
- 充電が完了してCHARGEランプが消えても電源からは遮断されません。使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- 充電が終わったら、バッテリーチャージャーをコンセントから抜き、バッテリーをバッテリーチャージャーから取り出してください。
- 必ずソニー製純正バッテリー、バッテリーチャージャーをお使いください。

バッテリーの使用時間と撮影/再生枚数

	使用時間	枚数
静止画撮影	約125分	約250枚
静止画再生	約250分	約5000枚

ご注意

- 撮影時の数値は、CIPA規格により、以下の条件で撮影した場合です。
  （CIPA：カメラ映像機器工業界、Camera & Imaging Products Association）
  – [画面の明るさ]：[標準]
  – 30秒ごとに1回撮影
  – 1回ごとにズームをW側、T側に交互にいっぱいにする。
  – 2回に一度、フラッシュを発光する。
  – 10回に一度、電源を入/切する。
  – 満充電したバッテリー（付属）で、温度25℃の環境。
  – 当社製の“メモリースティック PRO デュオ”（別売）を使用。

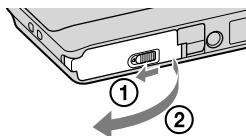
海外でも使えます

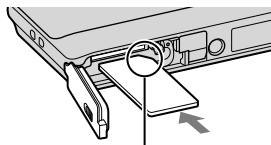
バッテリーチャージャー（付属）は全世界で使用できます（AC100V ～ 240V、50/60Hz）。ただし、地域によっては壁のコンセントの形状が異なるため、変換プラグアダプターが必要です。お出かけ前に、旅行代理店などで訪問先のコンセントの形状を確認し、必要に応じてご用意ください。

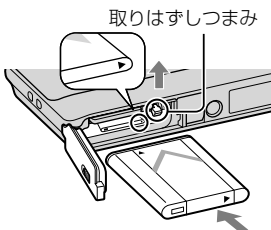
電子式変圧器（トラベルコンバーター）は使用できません。故障の原因になります。

コンセント形状例	**地域**	**変換プラグアダプター**
	主に北米	不要
	主にヨーロッパ	必要

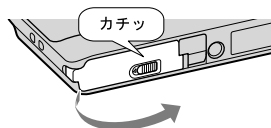
バッテリー/メモリーカード(別売)を入れる

1 カバーを開ける。

2 メモリーカード(別売)を入れる。

切り欠き部をイラストの向きにして、カチッというまで押し込む。

3 バッテリーを入れる。

バッテリーの向きを挿入口にあるイラストに合わせて、取りはずしつまみをバッテリーの端で矢印の方向に押しながら入れる。取りはずしつまみがロックするまで押し込む。

4 カバーを閉じる。

カバーのつまみの、黄色いマークが見えなくなるまでしっかりと閉じる。

- カバー内に砂などの異物を挟み込むと、防水パッキンが傷つき浸水の原因になります(5ページ)。

使用できるメモリーカード

本機で使用できるメモリーカードは、"メモリースティック PRO デュオ"、"メモリースティック PRO-HG デュオ"、"メモリースティック デュオ"、SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードです。ただし、すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。マルチメディアカードは使用できません。

- 本書では、"メモリースティック PRO デュオ"、"メモリースティック PRO-HG デュオ"、"メモリースティック デュオ"を「"メモリースティック デュオ"」、SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード を「SDカード」と表現しています。
- 動画撮影時は、以下のメモリーカードをおすすめします。

– MEMORY STICK PRO Duo (Mark2)("メモリースティック PRO デュオ"(Mark2))

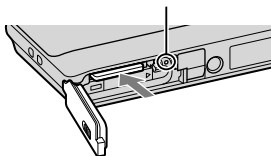
– MEMORY STICK PRO-HG Duo ("メモリースティック PRO-HG デュオ")

– SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード(Class 4以上)

記録できる枚数/時間については、58ページをご覧ください。

ご注意

- SDXCメモリーカードに記録した映像は、exFATに対応していないパソコンやAV機器などに、本機とUSBケーブルで接続して取り込んだり再生することはできません。接続する機器がexFATに対応しているかを事前にご確認ください。対応していない機器に接続した場合、フォーマット(初期化)を促す表示がされる場合がありますが、決して実行しないでください。内容が全て失われます。(exFATは、SDXCメモリーカードで使用されているファイルシステムです。)
- 本機は－10℃から+40℃の動作保証をしておりますが、メモリーカードの種類によっては、動作保証温度が異なる場合があります。詳しくはメモリーカードの取扱説明書をお読みください。

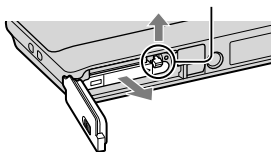
メモリーカードを取り出す

アクセスランプが消えていることを確認して、メモリーカードを押す。

ご注意

- アクセスランプ点灯中は、メモリーカード/バッテリーを取り出さないでください。データやメモリーカードが壊れることがあります。

メモリーカードを入れていないときは

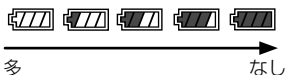
本体に内蔵されているメモリー（約45 MB）に画像が記録されます。メモリーカードにコピーする場合は、本機にメモリーカードを入れ、MENUをタッチして （設定）→ （メモリーカードツール）→［コピー］を選びます。

バッテリーを取り出す

取りはずしつまみをずらす。バッテリーが落下しないように注意する。

端子カバーについて

端子カバーを開くときは、バッテリー/メモリーカードカバーを開いてから、端子カバー左側の切り欠き部に指の爪を引っ掛けて開いてください。閉じるときは、端子カバーをしっかりと閉じてからバッテリー/メモリーカードカバーを閉じてください。

バッテリーの残量を確認する

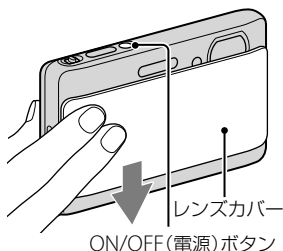
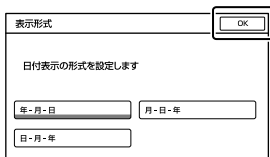
液晶画面に、バッテリー残量を表すアイコンが表示されます。

ご注意

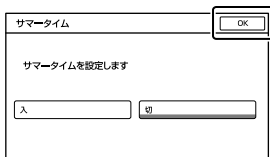
- 正しい残量を表示するのに約1分かかります。
- 使用状況や環境によっては、正しく表示されません。
- [パワーセーブ]設定が[標準]または[スタミナ]のときに電源を入れたまま一定時間操作しないと、液晶画面が暗くなり、その後自動で電源が切れます(オートパワーオフ)。
- 本機から取り出したバッテリーは、接点汚れ、ショート等を防止するため、携帯、保管時は必ずポリ袋などに入れて金属から離してください。

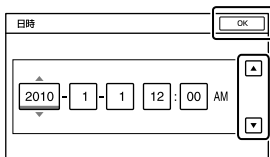
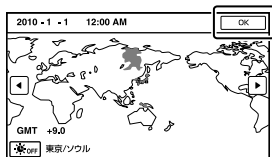
時計を合わせる

1 レンズカバーを下げる。

電源が入る。

- ON/OFF（電源）ボタンを押しても電源が入る。
- 電源を入れたとき、操作ができるまでに時間がかかることがある。

2 希望の日付表示形式を選び、[OK]をタッチする。

3 サマータイムの[入]、[切]を選び、[OK]をタッチする。

- 日本では、サマータイムは[切]にする。

4 設定する項目を選び、▲/▼で数値を設定し、[OK]をタッチする。

- 真夜中は12:00AM、正午は12:00PMとなる。

5 [東京/ソウル]が選ばれていることを確認し、[OK]をタッチする。

6 [OK]をタッチする。

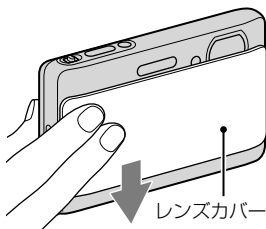
ご注意

- 本機には画像に日付を挿入する機能はありません。CD-ROM（付属）に収録されている「PMB」を使用すると、日付を入れて保存/印刷できます。
  詳しくは、「PMBヘルプ」（49ページ）をご覧ください。

時計合わせをやり直す

MENUをタッチして、(設定)から(時計設定)を選びます(57ページ)。

撮る（静止画）

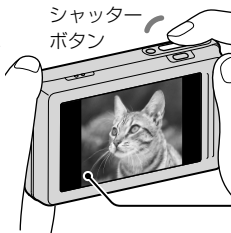
1 レンズカバーを下げ、i（撮影モード）がi（おまかせオート撮影）になっていることを確認する。

2 脇を締めて構え、構図を決める。

- ズーム（W/T）レバーをT側に動かすとズームする。W側に動かすと戻る。

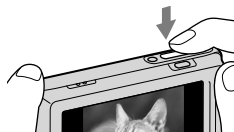
3 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる。

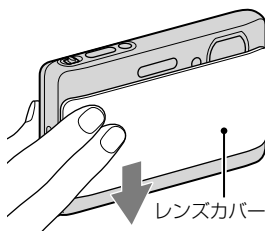
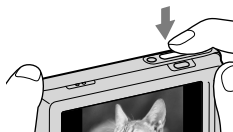
ピントが合うと「ピピッ」という音がして●が点灯する。

- ピントが合う最短距離はレンズ先端からW側約1cm、T側約50cm。

シャッターボタン

AE/AF ロック 表示

●

4 シャッターボタンを深く押し込む。

撮る(動画)

1 レンズカバーを下げ、i📷(撮影モード)→ 🎞(動画撮影)をタッチする。

2 シャッターボタンを深く押し込んで、撮影を開始する。

3 もう一度シャッターボタンを深く押し込んで、終了する。

見る

1 ▶(再生)ボタンを押す。

- 他機で撮影したメモリーカードの画像を再生すると、データベース登録画面が表示される。

▶(再生)ボタン

次の画像/前の画像を選ぶ

画面の▶❙(次) /❙◀(前)をタッチする。

- 動画を見るには液晶画面上の▶(再生)をタッチする。

削除する

🗑(削除) → [この画像]の順にタッチする。

撮影に戻る

画面上の📷をタッチする。

- シャッターボタンを半押ししても撮影に戻る。

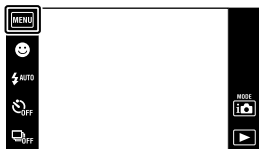
電源を切る

レンズカバーを閉じる。

- ON/OFF（電源)ボタンを押しても電源が切れる。

見やすい表示で撮る(かんたんモード)

撮影に必要最低限な機能だけを設定でき、文字が大きくなり、見やすい表示になります。

1 **MENU → EASY(かんたんモード) → [OK]をタッチする。**

できること	操作方法
スマイルシャッター	(スマイルシャッター)をタッチする
画像サイズ	MENU → [画像サイズ] → [大]または[小]を選ぶ
フラッシュ	MENU → [フラッシュ] → [オート]または[切]を選ぶ
セルフタイマー	MENU → [セルフタイマー] → [切]または[入]を選ぶ
かんたんモード終了	MENU → [かんたんモード終了] → [OK]をタッチする

かんたんモードで再生する

かんたんモード中に ▶(再生)ボタンを押すと、再生画面の文字も大きくなり、見やすくなります。また、使える機能が制限されます。

(削除) ：見ている画像を削除する

(ズーム)：再生した画像を拡大する

MENU ：[1枚削除]で、見ている画像を削除する
[全て削除]で、日付・フォルダ内すべての画像を削除する
[かんたんモード終了]で、かんたんモードを終了する

状況を自動判別して撮る（おまかせシーン認識）

1　i（撮影モード）→ i（おまかせオート撮影）をタッチする。

2　被写体にカメラを向ける。

カメラがシーンを認識すると、（夜景）、（夜景&人物）、（三脚夜景）、（逆光）、（逆光&人物）、（風景）、（マクロ）、（拡大鏡）、（人物）の各マークとガイドが画面に出る。

シーン認識マークとガイド

3　シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてから、撮影する。

2枚撮りで好みの画像を選べ、さらに便利に！（アドバンスモード）

MENU → iSCN（おまかせシーン認識）→［アドバンス］をタッチします。
［アドバンス］では、失敗しがちな（夜景）、（夜景&人物）、（三脚夜景）、（逆光）、（逆光&人物）を認識すると、下記のように設定を変えて、効果の異なる2枚の画像を撮影します。

	1枚目	2枚目
（夜景）	スローシンクロで撮影	感度を上げて、ブレを軽減して撮影
（夜景&人物）	フラッシュがあたっている顔を基準にスローシンクロで撮影	顔を基準に感度を上げて、ブレを軽減して撮影
（三脚夜景）	スローシンクロで撮影	よりスローシャッターにし、感度は上げずに撮影
（逆光）	フラッシュを使って撮影	背景の明るさ、コントラストを調整して撮影
（逆光&人物）	フラッシュがあたっている顔を基準に撮影	顔と背景の明るさ、コントラストを調整して撮影

［アドバンス］に設定して撮影したとき、撮影前に［目つぶり軽減］と表示されるとカメラは自動的に2枚撮影し、目つぶりしていない画像を自動的に選択して記録します。

パノラマ画像を撮る（顔・動き検出対応スイングパノラマ）

カメラを動かす間に複数の画像を撮影し、合成して1枚のパノラマ画像を作成します。パノラマ画像は付属のソフトウェア「PMB」でも再生できます。

1 i（撮影モード）→ i（スイングパノラマ）をタッチする。

2 撮りたい被写体の端にカメラを合わせ、シャッターボタンを深押しする。

- （撮影方向）をタッチすると、撮影する方向を変更できます。

撮影されない部分

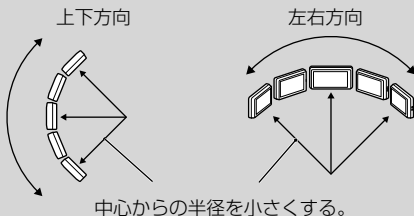
3 液晶画面上の矢印方向に、カメラをガイドの終端まで動かす。

ガイド

ご注意

- 他機で記録されたパノラマ画像は、正しくスクロール再生されない場合があります。

スイングパノラマ撮影のポイント

一定の速度で小さな円を描くように動かし、液晶画面の矢印方向と平行に動かしてください。動いている被写体よりも、止まっている被写体のほうがパノラマ撮影には適しています。

ブレを抑えて撮る（人物ブレ軽減）（手持ち夜景）

連写した画像を合成して、ブレを抑えた1枚の画像を作成します。
手ブレまたは暗所での被写体ブレ、ノイズを軽減できます。

1 （撮影モード）→ （人物ブレ軽減）または、（手持ち夜景）をタッチする。

- 室内での人物撮影は（人物ブレ軽減）を選ぶ。三脚なしでの夜景撮影は（手持ち夜景）を選ぶ。

2 シャッターボタンを深押しする。

階調豊かに撮る(逆光補正HDR)

露出の異なる2枚の画像を重ね合わせて、階調豊かな画像を作成します。

1 **i📷(撮影モード) → 逆光補正HDRアイコン(逆光補正HDR)をタッチする。**

2 **シャッターボタンを深押しする。**

連続して撮る(連写)

1 **連写OFFアイコン(連写) → 好みのモードをタッチする。**

OFF(切):1枚撮影する。

Hi(高):最高約10コマ/秒の速さで連写する。

Mid(中):最高約5コマ/秒の速さで連写する。

Lo(低):最高約2コマ/秒の速さで連写する。

顔にピントを合わせて撮る（顔検出）

カメラが人物の顔を判別して、顔にピントを合わせます。

1 MENU →（顔検出）→ 好みのモードをタッチする。

（タッチ時）：画面の顔部分にタッチしたとき顔検出をする。

（オート）：カメラまかせでピント合わせする顔を選ぶ。

（こども優先）：子どもの顔を優先してピント合わせする。

（おとな優先）：大人の顔を優先してピント合わせする。

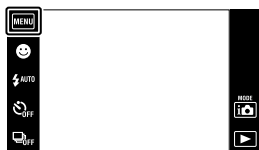
優先したい顔を登録する（選択顔記憶）

① 顔検出中に、登録したい顔をタッチする。
タッチした顔が優先顔として登録され、枠がオレンジ色の［ ］に変わる。

② 顔をタッチするたびに、登録が更新される。

③ 登録を解除したい場合は ✕をタッチする。

笑顔を逃がさず撮る（スマイルシャッター）

1 ☻（スマイルシャッター）をタッチする。

2 笑顔を待つ。

スマイルレベルがインジケーターの▼を超えると、自動で撮影される。終了するには、もう一度☻（スマイルシャッター）をタッチする。

- スマイルシャッター中に、シャッターボタンを押しても撮影できる。撮影後はスマイルシャッターに戻る。

スマイル検出感度インジケーター

顔検出枠

- ☻（大笑い）、☻（普通の笑顔）、☻（ほほ笑み）をタッチすると、笑顔を検出する感度を設定できる。

検出されやすい笑顔のポイント

① 前髪が目にかからないようにする。

② カメラに対して正面を向き、なるべく水平になるようにする。目は細めにする。

③ 口を開けてしっかり笑う。歯が見えているほうが笑顔を検出しやすくなる。

好きなところにピントを合わせる

ピントを合わせたいところをタッチするだけで、ピント位置を変更できます。

1 被写体に本機を向け、ピントを合わせたいところをタッチする。

- 半押ししてピントを合わせる前なら、何度でもやり直しできる。
- カメラまかせのピント合わせにしたいときは、×をタッチする。

用途に合わせて画像のサイズを選ぶ

画像サイズは画像を記録するときの大きさのことです。
画像サイズが大きいほど、大きな用紙にも詳細にプリントできます。
小さくすると、たくさん撮影できます。
動画の場合、画像サイズは大きいほど高精細になります。1秒間に使用されるデータ量(平均ビットレート)は、多いほどなめらかな動きになります。

1 MENU → 4:3 10M(画像サイズ) → 好みのサイズをタッチする。

- 撮影モードによっては、画面左側に表示されるボタンから設定する。

静止画画像サイズ	用途例	本機の液晶表示
4:3 10M （3648 × 2736）	A3ノビサイズまでの印刷	縦横比4:3で表示
4:3 5M （2592 × 1944）	L/2L/A4サイズまでの印刷	
4:3 VGA （640 × 480）	Eメールに添付	
16:9 7M （3648 × 2056）	ハイビジョン対応テレビでの鑑賞やA4サイズまでの印刷	画面いっぱいに表示
16:9 2M （1920 × 1080）	ハイビジョン対応テレビでの鑑賞	

パノラマ画像サイズ	説明
STD 標準 （横：4912 × 1080） （縦：3424 × 1920）	標準サイズで撮影
WIDE ワイド （横：7152 × 1080） （縦：4912 × 1920）	長いサイズで撮影

動画画像サイズ	平均ビットレート	説明
720 FINE 1280 × 720（ファイン）	9Mbps	ハイビジョンテレビ用に高画質で撮影
720 STD 1280 × 720（スタンダード）	6Mbps	ハイビジョンテレビ用に標準画質で撮影
VGA VGA	3Mbps	WEBアップロードに適したサイズで撮影

ご注意

- 16:9で撮影した静止画は、プリント時に両端が切れることがあります。

フラッシュモードを選ぶ

1 ⚡AUTO（フラッシュ）→ 好みのモードをタッチする。

⚡AUTO（オート）：暗い場所または逆光のとき、自動で発光する。

⚡（強制発光）：必ず発光する。

⚡SL（スローシンクロ）：必ず発光する。暗い場所ではシャッタースピードを遅くし、フラッシュが届かない背景も明るく撮影する。

（発光禁止）：発光しない。

ご注意

- おまかせオート撮影のとき、[強制発光]、[スローシンクロ]は使えません。
- 連写時はフラッシュ撮影できません。

セルフタイマー/自分撮り機能を使う

1 (セルフタイマー) → 好みのモードをタッチする。

(切)：セルフタイマーを使わない。

(10秒)：10秒後に撮影。自分も一緒に写りたいときに使う。

シャッターボタンを押すと、セルフタイマーが点滅して「ピッピッピッ」と操作音が鳴り、撮影が開始される。解除するには×をタッチする。

(2秒)：2秒後に撮影。シャッターボタンを押したときのブレが軽減できるため、手ブレが起こりにくくなる。

(自分撮り1人)／(自分撮り2人)：カメラが人物の顔を検出して自動撮影。自分にカメラを向けて撮影するときに使う。
設定した人数の顔を検出すると「ピピッ」と音が鳴り2秒後に撮影が開始される。
カメラを動かさないでください。

 「自分撮り」で自動撮影

液晶画面に顔が映るようにレンズを自分に向けてください。カメラが設定した人数の被写体の顔を検出すると撮影が開始されます。カメラが最適な構図を判断して撮影するため、液晶画面から顔が外れるのを防ぐことができます。

• 待機中にシャッターボタンを押すと、通常撮影もできます。

近くのものをきれいに撮る（マクロ）

虫や花など、小さいものを近くできれいに撮影したいときに使います。

1 **MENU → (マクロ) → 好みのモードをタッチする。**

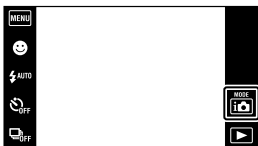
（オート）：遠景から近接まで自動でピントを合わせる。

（拡大鏡）：近距離で撮影したい場合に使用する。W側固定で約1 cm ～ 20 cmの間でピントを合わせる。

ご注意

- スイングパノラマ、動画、人物ブレ軽減、手持ち夜景撮影時、スマイルシャッター、かんたんモード中、[セルフタイマー]が[自分撮り1人]または[自分撮り2人]のとき、マクロは[オート]に固定されます。

場面に合った撮影モードを使う（シーンセレクション）

1 **（撮影モード） → SCN（シーンセレクション） → 好みのモードをタッチする。**

ISO(高感度)：暗いところでも、フラッシュを使わずにブレを軽減しながら撮影する。

(ソフトスナップ)：人物や花などを、やさしい雰囲気で撮影する。

(風景)：遠景にピントを合わせ、青空や草木の色を鮮やかに撮影する。

(夜景＆人物)：夜景の雰囲気を損なわずに、手前の人物を際立たせた画像を撮影する。

(夜景)：暗い雰囲気を損なわずに、遠くの夜景を撮影する。

(料理)：マクロモードになり、料理を明るく美味しそうに撮影する。

(ペット)：ペットを最適な設定で撮影する。

(ビーチ)：海や湖畔などの場所で撮影するとき、水の青さを鮮やかに記録する。

(スノー)：雪景色などの画面全体が白くなるようなシーンで雰囲気を損なわずに撮影する。

(打ち上げ花火)：打ち上げ花火をきれいに撮影する。

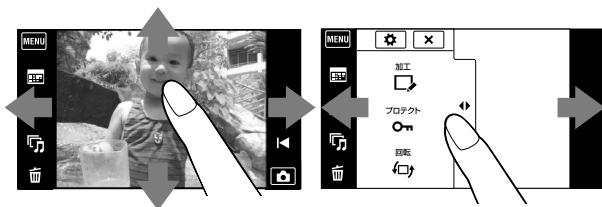
(水中)：水中をきれいに撮影する。

(高速シャッター)：屋外などの明るい場所で動きのある被写体を撮影する。

ご注意

- モードによっては、フラッシュ発光できなくなります。

タッチパネルを使いこなす

本機は液晶画面をなぞることにより、さまざまな操作ができます。

メニュー画面の表示/非表示

できること	操作方法
メニュー画面を表示	左側から右になぞる
メニュー画面を非表示	右側から左になぞる
操作ボタンを非表示	左側から左になぞる
操作ボタンを表示	左側から右になぞる
画像を送る/戻す	右/左になぞる
画像を連続で送る/戻す	右/左になぞり、そのまま画面の端をタッチし続ける
一覧表示画面を表示	上になぞる
一覧表示時、ページを送る/戻す	下/上になぞる
日付ビューで再生しているとき、カレンダー画面を表示	下になぞる

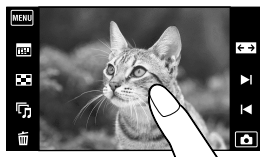
操作ボタンの表示を設定する

画面に操作ボタンを表示するかどうか設定できます。

MENU → [表示設定] → [入]または[切]

拡大して見る（再生ズーム）

1 **▶（再生）ボタンを押して画像を再生し、拡大したい部分をタッチする。**

タッチした部分を中心に、2倍に拡大される。

2 **倍率や拡大位置を調整する。**

画像をタッチするたびに、さらに拡大表示される。

上下左右になぞる：ズーム位置変更

⊕/⊖：倍率変更

✕：ズーム中止

全体の中で現在表示されている部分

画面いっぱいに画像を表示する（ワイドズーム）

1 **▶（再生）ボタンを押して画像を再生し、←→（ワイドズーム）をタッチする。**

- 終了するには、再び←→をタッチする。

縦に表示された画像を一時的に横に回転する（一時回転表示）

1 ▶（再生）ボタンを押して縦に表示された画像を再生し、（一時回転表示）をタッチする。

- 終了するには、再びをタッチする。

素早く探す（一覧表示）

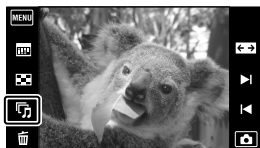
1 ▶（再生）ボタンを押して画像を再生し、（一覧表示）をタッチする。

- MENU → ［一覧表示設定］で表示枚数を12枚か28枚に設定できる。

2 画面を上下になぞり、ページを送る。

- 一覧表示画面で画像をタッチすると、1枚再生に戻る。

音楽といっしょに再生する(スライドショー)

1 ▶(再生)ボタンを押して画像を再生し、(スライドショー) → (音楽付スライドショー)をタッチする。

2 希望の設定項目を選び[実行]をタッチする。

• スライドショーを終了するには、画面をタッチして、[スライドショー終了]をタッチする。

好きな曲をBGMにする♪

お手持ちの音楽CDやMP3ファイルからお好みの曲(BGMファイル)を本機に転送し、スライドショーとともに再生できます。BGMファイルを転送するには、付属のソフトウェア「Music Transfer」をパソコンにインストールして(47ページ)、下記手順を行います。

① MENU → (設定) → (本体設定) → [BGMダウンロード]をタッチする。

② 本機とパソコンをUSB接続する。

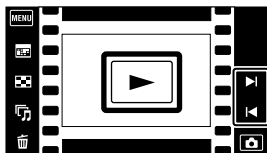
③ 「Music Transfer」を起動して操作する。

詳しくは「Music Transfer」のヘルプをご覧ください。

再生に便利な機能を使う

動画を見る

1 **▶(再生)ボタンを押して、動画を再生し、液晶画面中央の▶(再生)をタッチする。**

- 再生中、画面をタッチすると、一時停止して操作ボタンが表示される。

ボタン/操作方法	できること
🔈	音量調節 🔈+/🔈−で調整する。
⏮	頭出し
◀◀	早戻し
▶❚❚もしくは画面をタッチ	再生/一時停止
▶▶	早送り

削除する

1 ▶(再生)ボタンを押して画像を再生し、🗑(削除) → 好みのモードをタッチする。

🗑(この画像以外全て)：連写グループ表示時、選択している画像以外を削除する。

🗑(グループ内全て)：連写グループ内すべての画像を削除する。

🗑(この画像)：見ている画像を削除する。

🗑(画像選択)：画像を何枚か選んで削除する。画像をタッチして選び、[OK] → [OK]をタッチする。

🗑(日付内全て) /🗑(フォルダ内全て)：日付・フォルダ内すべての画像を削除する。

すべての画像を削除する(フォーマット)

メモリーカードが本機に入っている場合はメモリーカードのデータを、入っていない場合は内蔵メモリーのデータをすべて削除します。フォーマットすると、プロテクトしてある画像も含めて、すべてのデータが消去され、元に戻せません。

MENU → (設定) → (メモリーカードツール)または(内蔵メモリーツール) → [フォーマット] → [OK]をタッチする。

テレビで見る

1 バッテリー /メモリーカードカバーを開いてから、端子カバーを開く。

2 本機とテレビをマルチ端子専用ケーブル（付属）で接続する。

ご注意

- ケーブルを抜いて本機のカバーを閉じるときは、端子カバーを閉じてからバッテリー /メモリーカードカバーを閉じてください。

ハイビジョンテレビに接続して画像を楽しむときは

- HD出力アダプターケーブル（別売）で接続すると、本機で撮影した画像を高画質でお楽しみいただけます。「Type3」対応のHD出力アダプターケーブルをお使いください。
- あらかじめ、設定画面で（本体設定）の[コンポーネント出力]を[HD（D3）]に設定してください。

プリントする

PictBridge対応プリンターをお持ちの場合は、以下の手順でプリントできます。

1 バッテリー /メモリーカードカバーを開いてから、端子カバーを開く。

2 マルチ端子専用ケーブル（付属）を使って、本機とプリンターを接続する。

3 本機とプリンターの電源を入れる。

接続が完了すると、画面にマークが表示される。

4 MENU → （印刷） → 好みのモードをタッチする。

（この画像）：見ている画像を印刷する。

（画像選択）：画像を何枚か選んで印刷する。画像をタッチして選び、[OK] → [OK]をタッチする。

（日付内全て） /（フォルダ内全て）：日付・フォルダ内すべての画像を印刷する。

5 希望の設定項目を選び、[実行]をタッチする。

画像がプリントされる。

ご注意

- プリンターに接続できなかった場合、一度マルチ端子専用ケーブルをはずし、MENU → (設定) → (本体設定) → [USB接続] → [PictBridge]をタッチして、手順1から操作し直してください。
- プリンターによっては、パノラマ画像を印刷できない場合があります。
- ケーブルを抜いて本機のカバーを閉じるときは、端子カバーを閉じてからバッテリー /メモリーカードカバーを閉じてください。

お店でプリントするには

内蔵メモリー内の画像は、直接カメラからプリントすることはできません。メモリーカードにコピーして、プリントサービス店にお持ちください。

コピー方法：MENU → (設定) → (メモリーカードツール) → [コピー] → [OK]をタッチする。その他詳しくは、プリントサービス店にご相談ください。

画像に日付を入れるには

本機には画像に日付を挿入する機能はありません。プリント時に日付が重なってしまうことを防ぐためです。

お店でプリントする：

日付を挿入してプリントするよう依頼できます。詳しくはプリントサービス店にお問い合わせください。

自宅でプリントする：

PictBridge対応プリンターに接続し、▶(再生)ボタン → MENU → [印刷] → [日付]を[年月日]または[日時分]にします。

「PMB」で画像に日付を挿入する：

付属のソフトウェア「PMB」をパソコンにインストールして(47ページ)、画像に直接日付を挿入できます。日付挿入した画像をプリントすると、プリント設定によっては日付が重なってしまう場合があります。ご注意ください。詳しくは、「PMBヘルプ」(49ページ)をご覧ください。

パソコンで使う

サイバーショットで撮影した画像をよりいっそうご活用いただくために、CD-ROM（付属）には「PMB」が収録されています。
詳しくは、PMBサポートページ（http://www.sony.co.jp/pmb-sj/）、または「PMBヘルプ」（49ページ）をご覧ください。

操作1：「PMB」（付属）をインストールする

下記の手順で、ソフトウェア（付属）をインストールします。「PMB」と同時に「Music Transfer」もインストールされます。

• コンピュータの管理者権限でログオンしてください。

1　パソコンの環境を確認する。

「PMB」、「Music Transfer」、「PMB Portable」使用時、画像を取り込むときの推奨環境

OS（工場出荷時にインストールされていること）：Microsoft Windows XP* SP3/Windows Vista SP2/Windows 7

CPU：Intel Pentium Ⅲ 800 MHz以上（HD動画再生・編集時は、Intel Core Duo 1.66 GHz以上/Intel Core 2 Duo 1.20 GHz以上）

メモリ：512 MB以上（HD動画再生・編集時は1 GB以上）

ハードディスク（インストール時に必要な容量）：約500 MB

ディスプレイ：1024×768ドット以上

* 64bit版は除きます。
ディスク作成機能のご使用には、Windows Image Mastering API（IMAPI）Ver.2.0 以上が必要です。

2　パソコンの電源を入れ、CD-ROM（付属）をCD-ROMドライブに入れる。

インストール画面が表示される。

3 [インストール]をクリックする。

「言語の選択」画面が表示される。

4 画面の指示に従ってインストールを進める。

- インストールするには途中でカメラとパソコンを接続する。

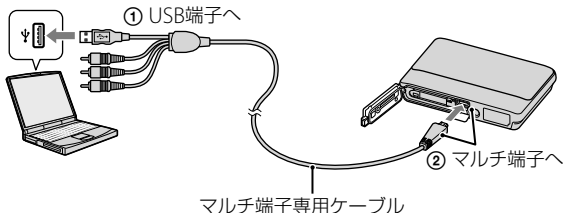
5 インストール後、パソコンからCD-ROMを取り出す。

操作2：「PMB」で画像をパソコンに取り込む

1 バッテリー /メモリーカードカバーを開いてから、端子カバーを開く。

2 充分に充電したバッテリーを本機に入れ、本機の▶(再生)ボタンを押す。

3 本機とパソコンを接続する。

本機の画面に「接続中」と表示される。

- 通信中は本機の画面に [USB] が表示されます。その間はパソコンの操作をしないでください。 USB が表示されたら操作できます。

4 [取り込み開始]をクリックする。

その他詳しくは、「PMBヘルプ」をご覧ください。

操作3：「PMBヘルプ」を見る

1 デスクトップ上の (PMBヘルプ)をダブルクリックする。

- スタートメニューから起動するときは、[スタート] → [すべてのプログラム] → [PMB] → [PMBヘルプ]の順にクリックする。

ご注意

- カメラの動作中やアクセス中の画面が表示されている場合、カメラ本体からマルチ端子専用ケーブルをはずしたりしないでください。データが壊れることがあります。
- 残量の少ないバッテリーを使用すると、データを転送できなかったり、データが壊れることがあります。ACアダプター AC-LS5A（別売)のご使用をおすすめします。
- ケーブルを抜いて本機のカバーを閉じるときは、端子カバーを閉じてからバッテリー /メモリーカードカバーを閉じてください。

「Macintosh」で使う

Macintoshに画像を取り込むことができます。ただし、「PMB」は対応していません。「Music Transfer」はインストールできます。

パソコンの推奨環境

本機とつなぐパソコンは、下記の推奨環境が必要です。

「Music Transfer」、「PMB Portable」使用時、画像を取り込むときの推奨環境

OS（工場出荷時にインストールされていること）：
USB 接続 :Mac OS X(v10.3 ～ v10.6)
Music Transfer/PMB Portable: Mac OS X(v10.4 ～ v10.6)

「PMB Portable」を使う

本機にはアプリケーション「PMB Portable」が内蔵されています。
「PMB」がインストールされていないパソコンからも、画像を簡単にネットワークサービスへアップロードできます。
詳しくは、「PMB Portable」のヘルプをご覧ください。

---

1 本機とパソコンを接続する。

本機とパソコンの接続が終わると、自動再生ウィザードが表示される。
Macintoshのときは[PMBPORTABLE]が表示される。

- 自動再生ウィザード画面が表示されないときは、[コンピュータ]（Windows XPでは[マイ コンピュータ]）→ [PMBPORTABLE]をクリックして、「PMBP_Win.exe」をダブルクリックする。

---

2 「PMB Portable」を選ぶ。

Macintoshのときは[PMBPORTABLE]フォルダの中の[PMBP_Mac]をクリックする。
使用許諾画面が表示される。

---

3 画面の指示に従って設定を行う。

「PMB Portable」が起動する。
その他詳しくは「PMB Portable」のヘルプをご覧ください。

ご注意

- 「PMB Portable」使用時は、必ずネットワーク接続してください。

操作音を変える

操作音の設定を変更したり、音を消したりします。

1 **MENU → (設定) → (本体設定) → [操作音] → 好みのモードをタッチする。**

シャッター：シャッターボタンを押したときのみ、シャッター音が鳴る。

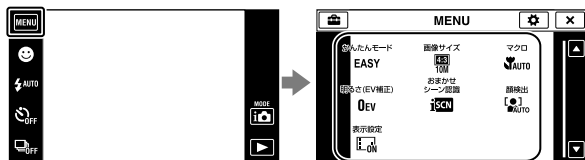
大/小：タッチパネルを操作したときや、シャッターボタンを押したときなどに、操作音/シャッター音が鳴る。操作音を小さくしたいときは[小]にする。

切：音は鳴らない。

MENUにある機能を使う

撮影中・再生中に見えている画面に対して使える機能を表示して、手軽に設定できます。

本機の画面には、設定できる項目のみが表示されます。MENUの下に表示されている4つのメニュー項目は、メニュー画面内には表示されません。

お買い上げ時の状態に戻すには、MENUをタッチして、(設定) → (本体設定) → [設定リセット]で戻せます。

カメラの設定を変える

撮影時のMENU

項目	説明
かんたんモード	必要最低限の機能を使って撮影する。
動画撮影シーン	動画撮影時、シーンに合わせて設定を変更する。 （オート/水中）
スマイルシャッター	笑顔を逃がさず撮る。
フラッシュ	フラッシュを設定する。 （AUTOオート/強制発光/SLスローシンクロ/発光禁止）
セルフタイマー	セルフタイマーを設定する。 （OFF切/10 10秒/2 2秒/自分撮り1人/自分撮り2人）
撮影方向	スイングパノラマ撮影のとき、カメラを動かす方向を設定する。 （右/左/上/下）
画像サイズ	画像サイズを設定する。 （4:3 10M/4:3 5M/4:3 VGA/16:9 7M/16:9 2M） （STD 標準/WIDE ワイド） （720 FINE 1280×720（ファイン）/720 STD 1280×720（スタンダード）/VGA VGA）
連写	連写を設定する。 （OFF切/Hi高/Mid中/Lo低）
マクロ	小さいものを近くできれいに撮影する。 （AUTOオート/拡大鏡）
明るさ（EV補正）	露出を手動調整する。 （－2.0EV ～ +2.0EV）
ISO	ISO感度を設定する。 （ISO AUTO/ISO 125 ～ ISO 3200）
色合い（ホワイトバランス）	撮影場所の光の状況に合わせて画像の色合いを調整する。 （WB AUTOオート/太陽光/曇天/蛍光灯1、蛍光灯2、蛍光灯3/電球/WBフラッシュ /ワンプッシュ /SETワンプッシュ取込）

項目	説明
水中ホワイトバランス	水中での色合いを調整する。 （オート/水中1、水中2/ワンプッシュ /ワンプッシュ取込）
フォーカス	ピント合わせの方法を変更する。 （マルチAF/中央重点AF/スポットAF）
測光モード	画面のどの部分で光を測るか（測光）を設定する。 （マルチ/中央重点/スポット）
おまかせシーン認識	カメラがシーンを判断して撮影する。 （オート/アドバンス）
顔検出	人物の顔を検出し、ピントを合わせる優先対象を設定する。 （タッチ時/オート/こども優先/おとな優先）
目つぶり軽減	目つぶり軽減機能を設定する。 （オート/切）
表示設定	撮影時、画面に操作ボタンを表示するかどうか設定する。 （入/切）

再生時のMENU

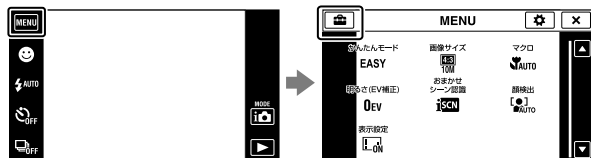
項目	説明
EASY（かんたんモード）	文字を大きくして見やすい表示で再生する。
（カレンダー表示）	カレンダー画面から再生する日付を選ぶ。
（一覧表示）	同時に複数の画像を表示させる。
（スライドショー）	画像を連続再生する。 （連続再生/音楽付スライドショー）
（削除）	画像を削除する。 （この画像以外全て/グループ内全て/この画像/画像選択/日付内全て*）
（ペイント）	静止画へ描き込みをして別ファイルとして保存する。

項目	説明
(加工)	画像を加工して別ファイルで保存する。 (トリミング(リサイズ)/赤目補正/ピントくっきり補正)
(ビューモード)	ビューモードの切り換えを行う。 (日付ビュー/フォルダビュー(静止画)/フォルダビュー(動画))
(連写グループ表示)	連写画像の表示のしかたを選択する。 (グループ代表画像のみ表示/全て表示)
(プロテクト)	画像を誤って消さないように保護(プロテクト)する。 (この画像/画像選択/日付内全て設定*/日付内全て解除*)
DPOF	メモリーカードの画像にプリント予約マークを付ける。 (この画像/画像選択/日付内全て設定*/日付内全て解除*)
(印刷)	PictBridge対応プリンターを接続して印刷する。 (この画像/画像選択/日付内全て*)
(回転)	静止画を左右に回転する。
(音量設定)	音量を調節する。
(表示設定)	再生時、画面に操作ボタンを表示するかどうか設定する。 (入/切)
(画像情報)	液晶画面に表示している画像ファイルの撮影情報(Exif情報)を表示するかどうか設定する。 (入/切)
(一覧表示設定)	一覧表示時、画像を表示する枚数を設定する。 (12枚/28枚)
(再生フォルダ選択)	再生したい画像の入っているフォルダを選択する。

* 各ビューモードによって、表示される項目が異なります。

(設定)にある機能を使う

本機のお買い上げ時の設定を変更できます。

(撮影設定)は、撮影モードから設定に入ったときのみ表示されます。

カテゴリー	項目	説明
撮影設定	AFイルミネーター	暗所でピントを合わせるための補助光を発光する。
	グリッドライン	構図を合わせるための線を表示する。
	デジタルズーム	光学ズーム以上のズームの方法を設定する。
	縦横判別	画像の縦横を判別して記録する。
	シーン認識ガイド	シーン認識マークの横に表示されるガイドを表示する。
	赤目軽減	フラッシュ撮影時、目が赤くなるのを軽減する。
	目つぶり通知	目を閉じている画像を記録すると、メッセージを表示する。

カテゴリー	項目	説明
本体設定	操作音	本機の操作時に鳴る音を設定する。
	画面の明るさ	液晶画面の明るさを設定する。
	表示言語	本機は日本語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。
	デモモード	スマイルシャッターやおまかせシーン認識のデモンストレーションをする。
	設定リセット	お買い上げ時の設定に戻す。
	コンポーネント出力	接続するテレビ端子に合わせて設定する。
	ビデオ信号出力	接続するビデオ機器のカラーテレビ方式に合わせて設定する。
	ハウジング	ハウジング(マリンパックなど)を装着したとき、ボタンの働きを変更する。
	USB接続	接続するパソコンやプリンターに合わせて設定する。
	LUN設定	USB接続したときに、パソコンなどに表示される記録メディアを設定する。
	BGMダウンロード	スライドショー用の音楽を変更する。
	BGMフォーマット	スライドショー用の音楽をすべて消去する。
	パワーセーブ	オートパワーオフまでの時間を設定する。
	キャリブレーション	ボタンの反応位置のずれを調整する。

カテゴリー	項目	説明
メモリーカードツール	フォーマット	メモリーカードをフォーマット(初期化)する。
	記録フォルダ作成	メモリーカードの中に新しいフォルダを作成する。
	記録フォルダ変更	画像を記録するフォルダを変更する。
	記録フォルダ削除	メモリーカードの中のフォルダを削除する。
	コピー	内蔵メモリーに記録した画像を、メモリーカードに一括コピーする。
	ファイル番号	ファイル番号の付けかたを設定する。
内蔵メモリーツール	フォーマット	内蔵メモリーをフォーマット(初期化)する。
	ファイル番号	ファイル番号の付けかたを設定する。
時計設定	エリア設定	本機を使用する場所に適した時刻に設定する。
	日時設定	時計、日付の設定をする。

静止画の記録可能枚数と動画の記録可能時間

記録枚数/時間は、撮影状況および使用するメモリーカードによって異なる場合があります。

静止画/パノラマ画像

（単位：枚）

容量 / サイズ	内蔵メモリー	本機でフォーマットしたメモリーカード				
	約45MB	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB
10M	9	402	808	1637	3334	6588
5M	14	582	1168	2366	4819	9524
VGA	284	11760	23600	47810	97350	192380
16:9（7M）	9	400	803	1626	3311	6543
16:9（2M）	47	1961	3934	7968	16220	32060
パノラマワイド（横）	12	516	1035	2097	4270	8438
パノラマ標準（横）	15	625	1255	2543	5178	10230
パノラマワイド（縦）	10	423	849	1719	3502	6920
パノラマ標準（縦）	10	442	887	1797	3660	7232

ご注意

- 静止画の記録可能枚数が99999枚より多いときは、「>99999」と表示されます。
- 他機で撮影した画像を再生すると、実際の画像サイズと異なって表示される場合があります。

動画

動画ファイルを合計したときの最大記録可能時間の目安です。連続撮影可能時間は約29分です。

（単位：時：分：秒）

サイズ ＼ 容量	内蔵メモリー	本機でフォーマットしたメモリーカード				
	約45MB	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB
1280×720（ファイン）	—	0:27:50	0:56:00	1:53:40	3:51:40	7:37:50
1280×720（スタンダード）	—	0:40:30	1:21:50	2:45:50	5:37:50	11:07:50
VGA	0:01:40	1:21:20	2:43:40	5:31:50	11:15:50	22:15:50

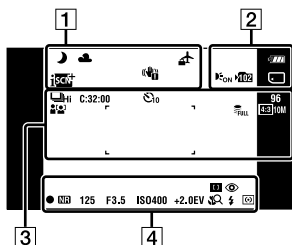
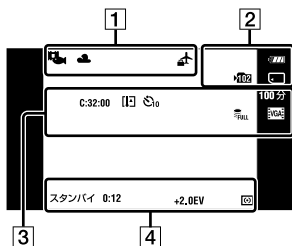
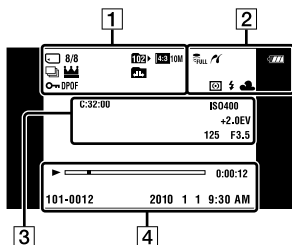
ご注意

- 連続撮影可能時間は、撮影環境によって異なる場合があります。[画面の明るさ]が[標準]の場合です。

その他

画面に表示されるアイコン一覧

画面には、カメラの状態を表すアイコンが出ます。撮影したモードによって、表示されるアイコンの位置が異なる場合があります。

静止画撮影時

動画撮影時

再生時

1

表示	意味
	シーン認識マーク
	色合い（ホワイトバランス）
	訪問先
iSCN+	おまかせシーン認識
	手ブレ警告
	動画撮影シーン
×2.0	再生ズーム
	記録/再生メディア（メモリーカード、内蔵メモリー）
8/8	画像番号/日付内・再生フォルダ内画像枚数
102	記録フォルダ
102	再生フォルダ
4:3 10M 4:3 5M 4:3 VGA 16:9 7M 16:9 2M STD WIDE 720 FINE 720 STD VGA	画像サイズ

表示	意味
	連写画像
	連写代表画像
	フォルダ移動
	プロテクト
DPOF	プリント予約マーク

2

表示	意味
	バッテリー残量
	バッテリープリエンド
ON	AFイルミネーター
102	記録フォルダ
	記録/再生メディア（メモリーカード、内蔵メモリー）
W T ×1.3 S P	ズーム
FULL Error	管理ファイルフル/管理ファイルエラー警告
	PictBridge接続
	測光モード
	フラッシュ
AWB 1 2 3 WB WB 1 WB 2	色合い（ホワイトバランス）

3

表示	意味
Hi Mid Lo	連写
C:32:00	自己診断表示
	温度上昇警告
10 2	セルフタイマー
96	記録可能枚数
100分	記録可能時間
	顔検出
FULL Error	管理ファイルフル/管理ファイルエラー警告
4:3 10M 4:3 5M 4:3 VGA 16:9 7M 16:9 2M STD WIDE 720 FINE 720 STD VGA	画像サイズ
	AF測距枠
＋	スポット測光照準
ISO400	ISO感度
+2.0EV	明るさ（EV補正）
125	シャッタースピード
F3.5	絞り値

その他

4

表示	意味
	フォーカス
	赤目軽減
●	AE/AFロック
NR	NRスローシャッター
125	シャッタースピード
F3.5	絞り値
ISO400	ISO感度
+2.0EV	明るさ（EV補正）
	拡大鏡モード
SL	フラッシュモード
	フラッシュ充電中
	測光モード
録画 スタンバイ	動画撮影/スタンバイ
0:12	記録時間（分：秒）
	再生
	再生バー
	方位
	GPS情報
35° 37'32"N 139° 44'31"E	緯度・経度表示
0:00:12	カウンター
101-0012	フォルダ-ファイル番号
2010 1 1 9:30 AM	画像の記録日時

もっと詳しく知りたい（サイバーショットハンドブック）

「サイバーショットハンドブック」は、CD-ROM（付属）に収録されています。さらに詳しい説明を知りたいときに、ご覧ください。

• 「サイバーショットハンドブック」を見るには、Adobe Reader が必要です。インターネットから無償でダウンロードできます。
  http://www.adobe.co.jp

Windowsをお使いの場合

1 パソコンの電源を入れ、CD-ROM（付属）をCD-ROMドライブに入れる。

2 [サイバーショットハンドブック]をクリックする。

3 [インストール]をクリックする。

4 デスクトップ上のショートカットから起動する。

Macintoshをお使いの場合

1 パソコンの電源を入れ、CD-ROM（付属）をCD-ROMドライブに入れる。

2 [Handbook] - [JP]の順に選び、[JP]フォルダ内の"Handbook.pdf"をパソコンにコピーする。

3 コピーが完了したら、"Handbook.pdf"をダブルクリックする。

故障かな？と思ったら

困ったときは、下記の流れに従ってください。

❶ 以下の項目をチェックする。また、「サイバーショットハンドブック（PDF）」も参照し、本機を点検する。

画面に「C/E：□□：□□」のような表示が出たときは、「サイバーショットハンドブック」をご覧ください。

❷ バッテリーを取りはずし、約1分後再びバッテリーを入れ、本機の電源を入れる。

❸ 設定リセットをする（56ページ）。

❹ サイバーショットオフィシャルWEBサイトで確認する。

http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

❺ ソニーの相談窓口に電話で問い合わせる（裏表紙）。

- **内蔵メモリーやBGM機能を搭載した機種を修理に出した場合、それらの内容を確認させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。**

バッテリー・電源

本機にバッテリーを入れられない。

- バッテリーの向きを確認し、取りはずしつまみがロックするまで挿入してください（15ページ）。

電源が入らない。

- 本機にバッテリーを取り付けた後、電源が入るまでに時間がかかることがあります。
- バッテリーが正しく取り付けられているか確認してください(15ページ)。
- バッテリーが消耗しています。充電されたバッテリーを取り付けてください(12ページ)。
- バッテリーの端子部が汚れています。柔らかい布などで軽く拭いて汚れを落としてください。
- 推奨バッテリーをお使いください。

電源が切れる。

- 本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために、自動的に電源が切れることがあります。この場合は、電源が切れる前に画面にメッセージが表示されます。
- [パワーセーブ]設定が[標準]または[スタミナ]のときに、操作しない状態が一定時間続くと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。電源を入れ直してください。

バッテリーの残量表示が正しくない。

- 温度が極端に高いまたは低いところで使用しているときの現象です。
- 残量表示と実際の残量にズレが生じています。バッテリーを一度使い切ってから充電すると正しい表示に戻ります。ご使用状況によっては、表示にズレが生じることがあります。
- 使用回数や経年変化により、バッテリー容量は低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、バッテリーの寿命です。新しいものをお買い上げください。

バッテリーを本体に入れた状態で充電できない。

- ACアダプター（別売)を使っての充電はできません。バッテリーチャージャー（付属)を使って充電してください。

バッテリー充電中、CHARGEランプが点滅する。

- バッテリーを取りはずし、もう一度同じバッテリーを確実に取り付けてください。
- 充電に適した温度範囲(10℃～ 30℃)で充電してください。

撮影

撮影できない。

- メモリーカードを挿入しているのに内蔵メモリーに記録されてしまうときは、メモリーカードが奥まで挿入されているか確認してください。
- 内蔵メモリーまたはメモリーカードの空き容量を確認してください(58ページ)。いっぱいのときは、以下のいずれかを行ってください。
  - 不要な画像を削除してください(43ページ)。
  - メモリーカードを交換してください。
- フラッシュ充電中は撮影できません。
- 動画撮影時は、以下のメモリーカードをおすすめします。
  - "メモリースティック PRO デュオ"(Mark2)、"メモリースティック PRO-HG デュオ"
  - SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード（Class 4以上）
- [デモモード]を[切]にしてください。

再生

再生できない。

- メモリーカードが奥まで挿入されているか確認してください。
- パソコンでフォルダ/ファイルの名前を変更したためです。
- パソコンで画像を加工したファイルや他機で撮影した画像は、本機での再生は保証いたしません。
- USBモードになっています。USB接続を終了してください。
- パソコン内の画像を「PMB」を使わずにメモリーカードにコピーしたためです。データベース登録画面で本機で管理されていない画像を登録するか、[フォルダビュー（静止画)]または[フォルダビュー（動画)]で再生してください。

使用上のご注意

使用/保管してはいけない場所

- 異常に高温、低温、または多湿になる場所
  炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近く
  変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気のある場所

持ち運びについて

ズボンやスカートの後ろポケットに本機を入れたまま、椅子などに座らないでください。故障や破損の原因になります。

お手入れについて

液晶画面をきれいにする

液晶画面に指紋やゴミが付いて汚れたときは、液晶クリーニングキット(別売)を使ってきれいにすることをおすすめします。

レンズをきれいにする

レンズに指紋やゴミが付いて汚れたときは、柔らかい布などを使ってきれいにすることをおすすめします。

表面をきれいにする

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下はご使用にならないでください。

- シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、日焼け止め、殺虫剤のような化学薬品類
- 上記が手についたまま本機を扱うこと
- ゴムやビニール製品との長時間の接触

動作温度にご注意ください

本機の動作温度は約－10 ℃～ +40 ℃です。動作温度範囲を越える極端に寒い場所や暑い場所での撮影はおすすめできません。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。

結露が起きたときは

バッテリーとメモリーカードを抜いて、バッテリー /メモリーカードカバーを開けたまま、くもりが取れるまで乾燥したところに置いてください。結露がなくなってからご使用ください。特にレンズの内側に付いた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

内蔵の充電式バックアップ電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切に関係なく保持するために充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し1か月程度まったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使用してください。ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことができます。

内蔵の充電式バックアップ電池の充電方法

本機に充電されたバッテリーを入れて、電源を切ったまま24時間以上放置する。

メモリーカードを廃棄/譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、メモリーカード内のデータは完全には消去されないことがあります。メモリーカードを譲渡するときは、パソコンのデータ消去専用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また、メモリーカードを廃棄するときは、メモリーカード本体を物理的に破壊することをおすすめします。

保証書とアフターサービス

記録内容の補償はできません

万一、デジタルスチルカメラやメモリーカードなどの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このデジタルスチルカメラは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

"故障かな?と思ったら"の項を参考にして故障かどうかお調べください。それでも具合の悪いときはソニーの相談窓口にご相談ください(裏表紙)。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

部品の保有期間について

当社はデジタルスチルカメラの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後5年間保有しています。

修理をお受けになる前に

内蔵メモリーのバックアップをお取りください。

修理によってデータが消去または変更された場合、記録内容の保障についてはご容赦ください。

安全のために

→ 2ページもあわせてお読みください。

下記の注意事項を守らないと、**火災**、**大けが**や**死亡**にいたる危害が発生することがあります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理はソニーの相談窓口にご依頼ください。

内部に水や異物（金属類や燃えやすい物など）を入れない

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。ACアダプターやバッテリーチャージャーなどもコンセントから抜いて、ソニーの相談窓口にご相談ください。

運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、液晶画面を見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。

撮影時は周囲の状況に注意をはらう

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。

指定以外の電池、ACアダプター、バッテリーチャージャーを使わない

火災やけがの原因となることがあります。

機器本体や付属品、メモリーカードは、乳幼児の手の届く場所に置かない

電池などの付属品や、メモリーなどを飲み込むおそれがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。
また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。

電源コードを傷つけない

熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、電源コードを抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。

可燃性/爆発性ガスのある場所でフラッシュを使用しない

つづき

⚠警告 火災 感電

下記の注意事項を守らないと、**火災**、**大けが**や**死亡**にいたる危害が発生することがあります。

フラッシュ、AFイルミネーターなどの撮影補助光を至近距離で人に向けない

- 至近距離で使用すると視力障害を起こす可能性があります。特に乳幼児を撮影するときは、1m以上はなれてください。
- 運転者に向かって使用すると、目がくらみ、事故を起こす原因となります。

下記の注意事項を守らないと、**けが**や**財産に損害**を与えることがあります。

油煙のあるところでは使わない

火災の原因になることがあります。

電池、ACアダプター、バッテリーチャージャーを、ぬれた手や、水滴のかかる場所、湿気、ほこり、湯気の多い場所で使わない

機器本体以外は防水/防塵仕様ではありません。

感電の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

コード類は正しく配置する

電源コードやパソコン接続ケーブル、A/V接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。

通電中のACアダプター、バッテリーチャージャー、充電中の電池や製品に長時間ふれない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

つづき

下記の注意事項を守らないと、**けが**や**財産に損害**を与えることがあります。

使用中は機器を布で覆ったりしない

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源をはずす

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントからはずしたり、電池を本体からはずして保管してください。火災の原因となることがあります。

フラッシュの発光部を手でさわらない

フラッシュ発光部を手で覆ったまま発光しないでください。発光後も発光部に手を触れないでください。やけどの原因となります。

レンズや液晶画面に衝撃を与えない

レンズや液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

電池や付属品、メモリーカード、アクセサリーなどを取りはずすときは、手をそえる

電池やメモリーカードなどが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。

⚠危険 電池についての安全上のご注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがや**やけど、火災**などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。

⚠危険	• 乾電池型充電式電池・バッテリーパックは指定されたバッテリーチャージャー以外で充電しない。 • 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。 • 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。 • 電池をコインやヘアーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。 • 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体でぬらさない。ぬれた電池を充電したり、使用したりしない。	 禁止
⚠警告	• 電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。 • バッテリーパックが変形・破損した場合は使用しない。 • アルカリ電池/ニッケルマンガン電池は充電しない。 • 外装シールをはがしたり、傷つけたりしない。外装シールの一部または、すべてをはがしてある電池や破れのある電池は絶対に使用しない。	 禁止
⚠注意	• 電池は、+、−を確かめ、正しく入れる。 • 電池を使い切ったときや、長期間使用しない場合は機器から取り出しておく。	 指示

お願い	リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ち下さい。
	 Li-ion リチウムイオン電池
	充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、 一般社団法人JBRCホームページ http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html を参照して下さい。

その他

主な仕様

本体

[システム]

撮像素子：7.59 mm（1/2.4型）Exmor R CMOSセンサー
総画素数：約1060万画素
カメラ有効画素数：約1020万画素
レンズ：カール ツァイス バリオ・テッサー 4倍ズームレンズ
f=4.43 mm ～ 17.7 mm（25 mm ～ 100 mm（35 mmフィルム換算値））、F3.5（W）～ F4.6（T）
動画撮影時（16:9）：28 mm ～ 112 mm
動画撮影時（4:3）：34 mm ～ 136 mm
露出制御：自動、シーンセレクション（12 モード）
ホワイトバランス：オート、太陽光、曇天、蛍光灯1、2、3、電球、フラッシュ、ワンプッシュ
水中ホワイトバランス：オート、水中1、2、ワンプッシュ
記録方式：
静止画：JPEG（DCF Ver. 2.0、Exif Ver. 2.21、MPF Baseline）準拠、DPOF対応
動画：MPEG-4 Visual
記録メディア：内蔵メモリー 約45 MB、"メモリースティック デュオ"、SDカード
フラッシュ：撮影範囲（ISO感度（推奨露光指数）がオートのとき）
約0.08 m ～ 2.9 m（W）/
約0.5 m ～ 2.4 m（T）

[入出力端子]

マルチ端子：Type3（AV出力（SD/HD コンポーネント）/USB/DC-in）
映像出力
音声出力（ステレオ）
USB通信
USB通信：Hi-Speed USB（USB 2.0準拠）

[液晶画面]

液晶パネル：ワイド（16:9）、7.5 cm（3.0型）、TFT駆動
総ドット数：230 400（960×240）ドット

[電源・その他]

電源：リチャージャブルバッテリーパックNP-BN1、3.6 V
ACアダプター AC-LS5A（別売）、4.2 V
消費電力（撮影時）：1.0 W
動作温度：－10 ℃～ +40 ℃
保存温度：－20 ℃～ +60 ℃
外形寸法：
94.0 mm×56.9 mm×17.7 mm（幅×高さ×奥行き、突起部を除く）
本体質量（バッテリー NP-BN1、メモリーカードを含む）：約144 g
マイクロホン：モノラル
スピーカー：モノラル
Exif Print：対応
PRINT Image Matching III：対応
PictBridge：対応
防水/防塵性能：JIS保護等級 IP58相当（水深3 m、連続60分間の水中撮影が可能）
耐衝撃性能：MIL-STD 810F Method 516.5-Shockに準拠して行った、1.5 mの高さから厚さ5 cmの合板上への単体落下テストをクリア

バッテリーチャージャー BC-CSN/BC-CSNB

定格入力：AC 100 V ～ 240 V、50/60 Hz、2 W
定格出力：DC 4.2 V、0.25 A
動作温度：0 ℃～ 40 ℃
保存温度：－20 ℃～ +60 ℃
外形寸法：約55×24×83 mm（幅×高さ×奥行き）
本体質量：約55 g

リチャージャブルバッテリーパックNP-BN1

使用電池：リチウムイオン蓄電池
最大電圧：DC 4.2 V
公称電圧：DC 3.6 V
容量：2.3 Wh（630 mAh）

本機や付属品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

商標について

- 以下はソニー株式会社の商標です。
  Cyber-shot、"サイバーショット"、"Memory Stick"、"メモリースティック"、MEMORY STICK™、"Memory Stick PRO"、"メモリースティック PRO"、MEMORY STICK PRO、"Memory Stick Duo"、"メモリースティックデュオ"、MEMORY STICK DUO、"Memory Stick PRO Duo"、"メモリースティックPRO デュオ"、MEMORY STICK PRO DUO、"Memory Stick PRO-HG Duo"、"メモリースティックPRO-HG デュオ"、MEMORY STICK PRO-HG DUO、"メモリースティック マイクロ"、"MagicGate"、"マジックゲート"、MAGICGATE、"ブラビア"、"ブラビアプレミアムフォト"
- Microsoft、Windows、DirectX、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OSはApple Inc.の登録商標または商標です。
- Intel、PentiumはIntel Corporationの登録商標または商標です。
- SDXC、SDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- MultiMediaCardは、MultiMediaCard Associationの商標です。
- Adobe、Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していません。

その他

■ 困ったときは（サポートのご案内）

ホームページで調べる

サイバーショットの最新サポート情報
（製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法、使用可能なメモリーカードなど）
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

サイバーショットオフィシャルWEBサイト
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/
サイバーショットの最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。英語の取扱説明書のダウンロードもできます。
(English manual download service is available.)

付属ソフトウェアのサポート情報
http://www.sony.co.jp/support-disoft/

電話で問い合わせる（ソニーの相談窓口）

●使い方相談窓口
フリーダイヤル 0120-333-020
携帯・PHS・一部のIP電話 0466-31-2511
最初のガイダンスが流れている間に下記番号＋「＃」を押してください。
本機や付属品：「401」
付属ソフトウェア「PMB」：「404」
受付時間：月〜金 9:00 〜 18:00　土・日・祝日 9:00 〜 17:00

●修理相談窓口
フリーダイヤル 0120-222-330
携帯・PHS・一部のIP電話 0466-31-2531
最初のガイダンスが流れている間に「401」＋「＃」を押してください。
受付時間：月〜金 9:00 〜 20:00　土・日・祝日 9:00 〜 17:00
ホームページ　http://www.sony.co.jp/di-repair/
FAX（共通）：0120-333-389

■カスタマー登録のご案内

カスタマー登録していただくと、安心・便利な各種サポートが受けられます。
詳しくは、WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-usbregi/

カスタマー登録の特典については下記のURLをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-tokuten/

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1　http://www.sony.co.jp/

この説明書は、古紙 70%以上の再生紙と、VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan